

第26回 林忠彦賞

Tadahiko Hayashi Award

# 作品募集

2016年 12月31日(土)必着!!

社会は心を撃つ写真をさがしています

Who is the next?



第25回(前回)受賞作「フィリピン残留日本人」 船尾 修

## 【賞】

ブロンズ像(菅戸千津子作「爽」)及び賞金100万円

## 【審査委員】

大石芳野(写真家)

笠原美智子(東京都写真美術館事業企画課長)

河野和典((公社)日本写真協会出版広報委員、日本カメラ社編集顧問)

細江英公(写真家、清里フォトアートミュージアム館長)

有田順一(周南市美術博物館館長)

敬称略・五十音順

時代を共有する写真を撮り続けた林忠彦。

林の精神を継承し、それを乗り越え未来を切り開く  
写真家の発掘を目的に写真を募集します。



林 忠彦(1918~1990)

山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真協会の母体となる「写真家集団」発足に参加、秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。



# 第26回林忠彦賞 ー 作品募集 ー

人物写真の雄、林忠彦は戦後、焼け跡の中から「太宰治」「坂口安吾」など無頼派の生の群像をとらえ世に出て以来、「日本の作家」「カストリ時代」「東海道」などが国の写真史に残る重厚な作品を次々に発表、生涯にわたって新しい写真表現に挑み続けました。時代を共有する写真それこそが林忠彦の写真でした。

林忠彦賞は、時代とともに歩む賞です。林忠彦の精神を継承し、それを乗り越え未来を切り開く写真家の発掘を目的に、林忠彦賞はさらなる高みにむかって歩み続けていきます。

## 募集要項

資格：国内居住であれば、アマチュア、プロ、年齢、性別、国籍を問いません。

テーマ：自由

対象：2016年（1月1日～12月31日）に写真展、写真集、雑誌、公募等の表現媒体ですでに発表された作品。

受賞記念写真展を開催する関係上、35～70枚程度の写真で構成された作品（同一テーマによるもの）。

### 「写真展」での応募

- ・「写真展」で展示した作品のプリントをお送り下さい。（展示していない作品は対象外となります。再プリント可。）
- ・プリントの代わりに「写真集」をお送りいただくことも可能です。（その場合は展示した作品がわかるように明記。）
- ・「写真展」の会場内でポートフォリオなどを置いていた場合は、そのプリントも展示作品として含めることができます。
- ・巡回展示や会期中展示替えがあった場合は該当プリントがわかるように明記してください。
- ・資料として、写真展の「案内ハガキ」や「展示風景のプリント」などを添付し、発表時期や状況がわかるようにしてください。

### 「雑誌」「公募」などでの応募

- ・掲載誌あるいは発表した作品のプリントをお送り下さい。（発表していない作品は対象外となります。再プリント可。）
- ・発表状況がわかる資料「案内ハガキ・チラシ」などを添付してください。
- ・プリントの代わりに「写真集」をお送りいただくことも可能です。（その場合は発表した作品がわかるように明記。）

### 「写真集」での応募

- ・そのまま「写真集」をお送り下さい。
- ・資料としてプリントを添付されても構いません。（その場合は写真集に掲載されているプリントのみが対象です。）

### 「プリント」

- ・六ツ切から四ツ切程度（インクジェットプリントも可。）
- ・できるだけファイリングした状態でご応募ください。（ファイリングできない場合は、裏面に順番を明記。）

### 「応募用紙」

- ・下記の応募用紙に、住所・氏名・略歴等を明記し、制作の主旨を400字以内にまとめてお送り下さい。（自作も可。）

## 【選考発表】

審査後、受賞者に通知するとともに各報道機関に発表します。（2017年3月上旬予定）

授賞式は東京で行い、東京と周南市において受賞記念写真展を開催します。

受賞作品は主催者が保存のため、銀塩ペーパー・全紙サイズで再制作し、林忠彦コレクションとして周南市美術館に永久保存します。

## 【作品の返却】

返却方法は、受取人着払いの宅配便となります。

ただし、最終候補作品については、資料として作品をご提供いただく場合があります。

## 【個人情報】

ご記入いただいた個人情報は、林忠彦賞に関する業務以外には使用しません。

## 【応募・問合せ先】

林忠彦賞事務局 〒745-0006 山口県周南市花島町10-16  
(周南市美術館) TEL 0834-22-8880 FAX 0834-22-8886

## 【審査委員】

大石芳野（写真家）

笠原美智子（東京都写真美術館事業企画課長）

河野和典（(公社)日本写真協会出版広報委員、日本カメラ社編集顧問）

細江英公（写真家、清里フォトアートミュージアム館長）

有田順一（周南市美術館館長） 敬称略・五十音順

## 【締切】

2016年（平成28年）12月31日（土）必着

## 【賞】

ブロンズ像（笹戸千津子作「爽」）及び賞金100万円

募集要項・歴代受賞作品など詳しくはホームページをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

<http://hayashi-award.com>



主催／公益財団法人周南市文化振興財団

## 第26回 林忠彦賞 応募用紙

この用紙に書ききれない場合は、別紙に記入し作品に添付してください。（A4サイズ）

フリガナ	生年月日	男・女	勤務先・学校名・職業
氏名	西暦 年 月 日 (明・大 昭・平 年)	歳	
フリガナ			電話
〒( )			平日昼間の連絡先
住所 都道 府県			FAX
略歴			
フリガナ			会期
タイトル	プリント枚数 ※写真集の場合はカット数 (35~70枚程度)	発表形態	発行日
	枚	写真展	年 月 日~ 年 月 日
		写真集	雑誌等 誌名
作品の返却 (○で囲んでください)	A. 返却を希望する(着払いの宅配便) B. 返却を希望しない		会場
			発表日または展示会期
			年 月 日
			公募
			コンテスト名
			発行日
			年 月 日
			出版元
			他
主旨			